

令和5年度あきる野市地域自立支援協議会 第2回全体会記録

- 1 日 時 令和5年10月23日(月)午後2時～午後3時30分
- 2 会 場 あきる野市中央公民館 音楽室
- 3 出席者 藤間委員、加藤委員、高野委員、新條委員、吉村委員、柳瀬委員、村上委員、吉澤委員、石井委員、貝瀬委員、見崎委員、山田委員
- 4 議事
 - (1) 令和4年度指定相談支援事業者事業報告
 - (2) 令和4年度あきる野市障害福祉サービス実績報告
 - (3) 各部会からの活動報告
 - (4) その他

開会 障がい者支援課長
議事 進行 高野会長
(1) 令和4年度指定相談支援事業者事業報告 事務局 資料に基づき説明 意 見 (委 員) 令和4年度から基幹相談支援センターとなったことに伴う変化を伺いたい。 (事務局) 力を入れなければならない事業として人材育成等が加わった。地域の相談支援事業所からの相談も増えている。 (委 員) 令和4年度に実施した社会生活力を高める講座について、受講者の年齢等の傾向を伺いたい。 (事務局) 8050問題、7040問題の当事者等が多い傾向にある。 (委 員) 「精神障害にも対応した包括ケアシステムの構築に向けた検討会議」における協議内容を伺いたい。 (事務局) 退院間近の方に対し、どのような社会資源が必要なのか検討を行っている。ただし地域の社会資源の過不足の状況を把握し、対策を立てていくことは、本会議のみで対応することは難しいと感じている。 承認手続き 拍手多数により承認
(2) 令和4年度あきる野市障害福祉サービス実績報告 事務局 資料に基づき説明 質疑応答なし 承認手続き 拍手多数により承認
(3) 各部会からの活動報告 各部会長から資料に基づき説明 質疑応答及び意見 (委 員) 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したが、特別支援学校における現在

の影響を確認したい。

(事務局) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、就労に向けた実習ができない期間があった。5類感染症移行により現在は実習を再開しているが、実習ができなかったことで職業選択等の進路決定に困難が生じている。

(委員) あきる野市においてセルフプランの導入は検討しているのかを知りたい。

(事務局) 現段階ではセルフプランの導入は考えておりません。

(委員) 交通手段を理由に情緒学級等への通学を断念するようなことが起きないように、教育委員会と障がい者支援課で検討して欲しい。

(事務局) 教育委員会と情報を共有する。

承認手続き 拍手多数により承認

(4) その他

事務局 資料に基づき説明

意見

(委員) 児童発達支援等、就学前の支援の重要性や必要性を感じる。

(委員) 8050問題等、幼少期からの積み重ねが重要でありライフステージを通して解決していくことが重要。

(委員) 自立支援協議会では行政への要求を挙げる場ではなく、自立支援協議会として地域の課題に対し何ができるかを考えられると良い。

(委員) 基幹相談支援センターで全ての相談を受けることは難しいと思われる。その上でいずれかの機関が新生児やひきこもり等の多岐にわたる相談について、適切な相談先を振り分ける役割を有していることが必要である。

承認手続き 拍手多数により承認

閉会 障がい者支援課長

令和5年度第3回全体会は令和6年2月頃開催予定。